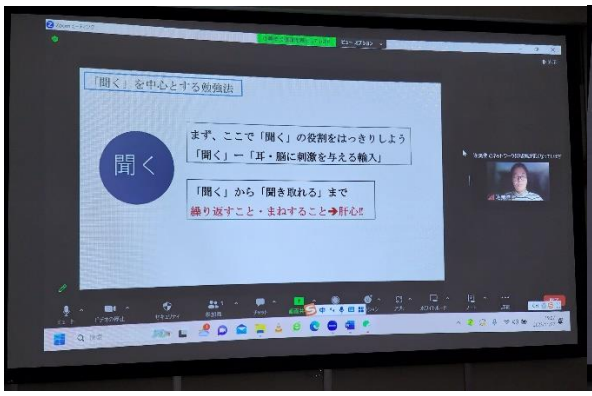
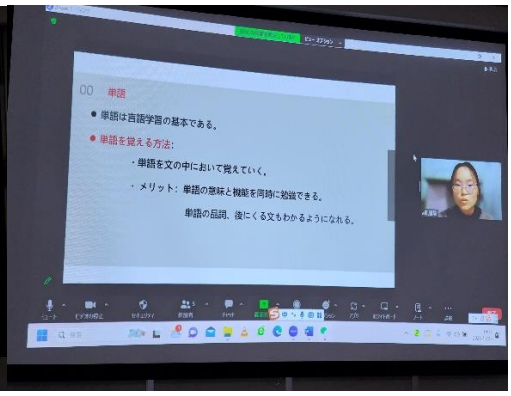
岡山商科大学孔子学院外国語学習交流会を開催

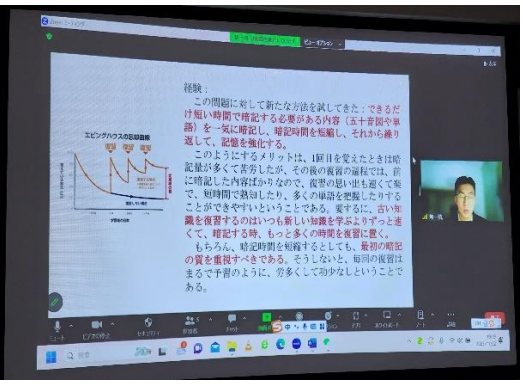
11 月 22 日午後 7 時、岡山商科大学孔子学院にて外国語学習交流会が行われた。孔子学院スタッフ全員が交流会に向けての準備を行った。

今回の交流会では本孔子学院日本人受講生 6 名及び大連外国語大学日本語学院大学院生 4 名が出席し、外国語の勉強について自身の経験と勉強方法など様々な交流が行われた。交流会はオンラインと対面を組み合わせるハイブリッド形式で行われ、孔子学院中国側院長の李東輝が司会を務めた。

まず、大連外国語大学の大学院生が自身の日本語の学習法を紹介した。「シャドーイング」、「暗記時間を短縮し、それから繰り返して、記憶を強化する」、「たくさんの文章を読んで、文中に出てきた美辞麗句をメモし、後で模倣して使う」、「NHK や日本のバラエティー番組を聞く」「日本語で日記を書く」など、さまざまな学習法を紹介した。







次に、本孔子学院の受講生が各自の中国語学習法を紹介した。受講生の経験の中で「普段、テキストや新聞などに載せた短い評論と随筆を写して、辞書を調べて、日本語に訳する」、「中国映画と中国ドラマをたくさん見る」、「直接中国語で日記を書く」、「音楽が好きで、よく中国の歌を覚えている。」、「作文を書く過程は部屋を作るのと同じような感じだ」「たくさんの友達を作る」、「中国の動画（小红书）を見

る」など、色々な経験談を述べた。

各自の経験を紹介した後、孔子学院受講生と大外院生がお互いに外国語を勉強したきっかけや学習する中で起こった問題などについて話し合い、和やかな雰囲気に溢れた。

交流会終了後、李東輝副学院長は各受講生の発表内容をまとめて、コメントした。日本語学習と中国語学習は大体同じくらいで、「たくさん聞く」と「たくさん話す」、勉強したことを役立てることがやはり一番大事であり、粘り強く続けること。また、外国語の学習に対する情熱を持ち続けることなど、激励の意を伝えた。最後に孔子学院日本側副学院長韓雲冬より挨拶で閉会した。

今回の交流会を通して、両国の学生たちの参考となるいい勉強法と経験を共有し、和やかな学習雰囲気を醸し出した。また、学生たちは自分なりの合理的で効率的な学習法を作るのに役立つことができ、今後、外国語学習においてさらに自身の実力が向上できるようきっかけとなった。

執筆者：朱風・李東輝

2023 年 11 月 24 日